

スウェーデン産豚骨への牛肉の混載事例に関する豚肉の輸 入手続保留の解除について

2008年8月14日に発生した、スウェーデン産豚骨への牛肉の混載事例について、スウェーデン政府から調査報告書が提出され、再発防止に十分な改善措置が確認されたため、本日、スカーラフリース社及びスキャン社スカーラ工場からの豚肉の輸入手続の保留を解除しますのでお知らせします。

8月14日に発生したスウェーデン産豚骨への牛肉の混載事例について、10月27日、スウェーデン国家食品管理局から別添報告書(英文・仮訳)が提出され、本日までに検討を了しました。農林水産省は、再発防止に十分な改善措置がとられていることが確認されたことから、本日より、スカーラフリース社及びスキャン社スカーラ工場からの豚肉の輸入手続の保留を解除することとします。

(貨物の概要：8月14日公表)

処理施設：スキャン社スカーラ工場

倉庫施設：スカーラフリース社

輸入業者：アグリ・トレード社

品目：

衛生証明書に記載のある品目	豚骨 2,400 箱(約 24 トン)
衛生証明書に記載のない品目	牛肉 (ひれ肉) 1 箱(約 8kg) 豚肉 (もも肉) 1 箱(約 8kg)

※欧州地域における BSE の発生に伴い、平成 13 年 1 月 1 日からスウェーデンからの牛肉等の輸入は停止中。

〈参考〉スウェーデン政府から提出された調査報告書の概要

(1) 調査結果

当該貨物は、スキャン社スカーラ工場において製造され、倉庫業者であるスカーラフリース社に出荷されたものであり、倉庫業者において、日本向けに選定・梱包された貨物にスウェーデン国内向け製品(牛肉 1 箱及び豚肉 1 箱)が誤って日本向け製品と一緒に積載されたものである。

この誤出荷の原因は、発注書と出荷書をチェックできず、また、出荷貨物のラベルをチェックできなかった倉庫業者の従業員の人的エラーであった。

(2) 改善措置

- ・ スカーラフリース社は、出荷する製品を選定・梱包する際に、全ての出荷製品がスキャン社からの発注書と合っていることを確認するとともに、出荷の際に全ての箱のラベルをハンディスキャンにより確認し、発注書等と異なるものが含まれていないことを確認することとした。
- ・ スカーラフリース社は上記の改善措置を確実に実施するため、日本向け製品の出荷を担当する従業員を増員した。
- ・ スキャン社においても、スカーラフリース社へ輸送する製品について箱のラベルと中身のチェックを強化した。

<添付資料>

- ・ 別添 1 スウェーデン国家食品管理局からの調査報告書（英文）
- ・ 別添 2 スウェーデン国家食品管理局からの調査報告書（仮訳）

お問い合わせ先

消費・安全局動物衛生課

担当者：川本

代表：03-3502-8111（内線 4581）

ダイヤルイン：03-3502-5994

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>